

キラリ熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

念願のチャンピオンを獲得



ジャパンキックボクシング協会
ライト級チャンピオン
ながさわ きよみつ
永澤サムエル聖光さん

夢は統一王者

『19歳からキックボクシングを始めて11年、ついにチャンピオンになりました。』こう語るのは市内在住でジャパンキックボクシング協会ライト級チャンピオンの永澤サムエル聖光さんです。

幼いころにK - 1選手のアーネスト・ホースト選手に憧れてキックボクシングを始めたという永澤さん。日曜日以外は毎日トレーニングを行っているそうで、朝はランニング、夜はジムでのトレーニングを重ねています。「毎日の地道なトレーニングの繰り返しで試合の結果につながるのですが、同じことを毎日繰り返すので、なかなか大変です。」と話します。

格闘技につきものの『減量』についても苦労しているとのこと

で、試合前になると制限体重（ライト級は61.23kg）に向けて、格闘家に必要な栄養を取りつつ、体重を落とすという限られた条件の中、奥さんがさまざまな工夫をして低糖質・高たんぱくのメニューを中心に減量を行い、試合へ向けた調整を行っています。

永澤さんに自分の持ち味を伺うと「ボディへの攻撃です。ここ2試合はボディでKOを奪いチャンピオンにもなれました。」と力強く話してくれました。

今後の目標は他団体のチャンピオン同士で戦い、『統一王者』になること、そして本場タイで『ムエタイ』の選手に勝つことだという永澤さん。力強い攻撃でこれからも勝利を勝ち取ります。



▲令和2年1月5日に行われた試合中の永澤さん。強烈なパンチが対戦相手を襲います

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

☒ 葵メディカルアカデミー

今日は、葵メディカルアカデミーにきたよ。この学校では歯科衛生士さんと理学療法士さんをめざす人が勉強しているんだって！県北では唯一、歯科衛生士さんを目指せる学校なんだって。早速、中におじゃまして～ず。



◀ここは、歯科衛生科の『臨床実習室』だよ。歯医者さんにあるような診察台がいっぱい並んでるねえ～。ここでは、歯石除去などの実習をするんだって！9台あるから授業のときもみんなで勉強できるね。



▲こっちは理学療法科の『機能回復訓練室』だよ。階段とか平行棒とかいろいろなものがあるけど、これは病气やケガからの回復を目指す！リハビリテーションに使うんだって！がんばって理学療法士さんになってね！

ふっかちゃんの
つぶやき

新生活のスタートだね！ふっかちゃんも新たな一歩を踏み出すみんなを応援しているよ！Y(o0ω0o)Y



『農業』で

深谷を元気に！

平成30年に新設された『産業ブランド推進室』では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、農業を核とした産業のブランディングを進めています。特に力を入れているのは、①人を呼び込むための取り組み『ベジタブルテーマパーク フカヤ』、②新たな企業を誘致するための取り組み『DEEP VALLEY』、③地域内経済循環を高める取り組み『地域通貨』の3つです。今回は、①と②について説明します。



▲昨年行われた『お絵かきサラダ体験教室』。自分で作ったサラダはおいしい！

① 人を呼び込むための取り組み『ベジタブルテーマパーク フカヤ』



- ・渋沢栄一翁の新1万円札肖像と大河ドラマ主人公決定、令和4年に『ふかや花園プレミアム・アウトレット』が開業するなど今後観光客の増加が見込まれる中、観光客に『野菜』を楽しんでもらえる観光コンテンツを開発します。
- ・市全体を『野菜のテーマパーク』に見立て、観光客が市内を回遊できる『ベジタブルテーマパーク フカヤ』の取り組みを発信し、深谷市と深谷の野菜のファンづくりを進めていきます。

② 新たな企業を誘致するための取り組み『DEEP VALLEY』

- ・人手不足など深谷市の農業の現場が抱える課題を解決するため、農業（アグリカルチャー）に関する先進技術（テクノロジー）を持つ『アグリテック企業』の誘致と集積を図ります。
- ・技術革新を得意とする企業と農業生産者がつながりあい、アグリテック企業が生まれ続けるような『アグリテック集積都市 DEEP VALLEY』の実現を目指していきます。



L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気で笑顔で参画するまち ふかや
関人権政策課（☎574 - 6643）

L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

ワーク・ライフ・バランスについて考えてみませんか？

皆さんは、ワーク・ライフ・バランスという言葉をご存じでしょうか。

ワーク・ライフ・バランスとは、『仕事と生活の調和』ということですが、現在の働き方を見直し、生産性を向上させることで、健康で豊かな生活のための時間を確保し、私生活が充実することで業務効率も上がるといった相乗効果・好循環を生むことを趣旨としています。

現在では、共働きの世帯も一般的となっていますが、その一方で、『男は仕事、女は家庭』といった性別による役割分担が一般的だったころの意識や、それに基づく働き方が残っていることから、仕事と生活が両立しにくい状況にあります。

このような状況を解消するためには、社会全体として取り組んでいく必要があります。

もちろん、事業主と働く人が協調して生産性の向上に努めるとともに、職場の意識や風土を変えていく取り組みも必要ですが、それだけでなく、みなさんが社会の一員として、家庭や地域の中で積極的に役割を果たしたり、一消費者として、求めようとするサービスの背後にある働き方に配慮したりすることも大切ではないでしょうか。

